

土石の堆積に関する工事の許可申請書（記入例）

＜留意事項＞

宅地造成及び特定盛土等規制法（第12条第1項） （第30条第1項）の規定により、許可を 申請します。 年 月 日 豊田市長 様 申請者 氏名 株式会社豊田開発 代表取締役社長 豊田 太郎		※手数料欄					
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	愛知県豊田市〇〇町〇〇 株式会社豊田開発 代表取締役社長 豊田 一郎 (愛知県豊田市〇〇町〇〇 取締役 豊田 二郎) (愛知県豊田市〇〇町〇〇 取締役 豊田 三郎)					
2	設計者住所氏名	愛知県豊田市〇〇町〇〇 株式会社豊田設計 代表取締役社長 豊田 花子					
3	工事施行者住所氏名	愛知県豊田市〇〇町〇〇 株式会社豊田建設 代表取締役社長 豊田 太郎					
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	愛知県豊田市〇〇町〇〇、□□の一部 (緯度：△△度△△分△△秒、経度：△△度△△分△△秒)					
5	土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル					
6	工事の目的	建設資材（砂利）の一時的な堆積					
7 工 事 の 概 要	イ 土石の堆積の 最大堆積高さ	〇〇〇.〇〇 メートル					
	ロ 土石の堆積を行う 土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル					
	ハ 土石の堆積の 最大堆積土量	〇〇〇.〇〇 立方メートル					
	ニ 土石の堆積を行う 土地の最大勾配	1/20 (3度)					
	ホ 勾配が十分の一を 超える土地における 堆積した土石の崩壊を 防止するための措置						
	ヘ 土石の堆積を行う土地 における地盤の改良 その他の必要な措置						
	ト 空地の設置	番 号	空地の幅				
		1	〇〇〇.〇〇 メートル				
チ 雨水その他の地表水を 有効に排除する措置	堆積する土石の外周に側溝設置						
リ 堆積した土石の崩壊に 伴う土砂の流出を 防止する措置	番 号	種 類	高 さ	延 長			
	1	鋼矢板4型	3m	20.00m			
ヌ 工事中の危害防止 のための措置	例1) 工事区域外周にH=1.8mの侵入防止柵を設置 例2) 工事車両の出入口に、ガードマンを配置し交通整理						
ル そ の 他 の 措 置	なし						
ヲ 工事着手予定年月日	年 月 日						
ヾ 工事完了予定年月日	年 月 日						
カ 工 程 の 概 要	別紙工程表のとおり						
8	その他の必要な事項	豊田市開発事業に係る手続等に関する条例承認済（令和〇年〇月〇日 豊開開発第〇号）					
※受 付 欄		※決 裁 欄		※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年 月 日						年 月 日	
第 号						第 号	
係員氏名						係員氏名	

該当する条文に○印
 12条1項：宅地造成等工事規制区域
 30条1項：特定盛土等規制区域

法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入（注2）

法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名のほか、役員の住所氏名を記入（注2、注3）
 役員：業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者

法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入（注2）

法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入（注2）
 原則未定は不可。地方公共団体が行う工事等で工事施行者が未定の段階で許可を得る必要があるなど、やむを得ない理由がある場合に限り、後で定まってから届け出（注4）

代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入（注5）

構台等の設置など土石の崩壊を防止するための措置を記載
 詳細については「審査基準」参照

軟弱地盤における土石の堆積など必要な措置を記載
 詳細については「審査基準」参照

堆積する土石に応じた空地の幅を記載
 土石の高さ5m以下
 空地の幅：土石の堆積高さ以上
 土石の高さ5m超
 空地の幅：土石の堆積高さの2倍以上

原則側溝を設置

鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入（注6）
 詳細については「審査基準」参照

工事の期間は5年以内
 やむを得ない理由等により許可した期間を超える場合は、変更許可日から5年以内
 詳細については「審査基準」参照

工事の工程が分かる工程表等を添付

宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施工することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入（注9）